

第 97 回 ITER 機構職員募集説明会での Q&A

1. 日時・場所

平成 29 年 7 月 5 日（水）～7 日（金）

パシフィコ横浜 展示ホール C, D(第 12 回再生可能エネルギー世界展示会)

2. 来訪者 250～300 名程度

3. 説明概要

第 12 回再生可能エネルギー世界展示会において、ITER に関するポスターを展示し、ITER の概要、ITER の最新の建設状況、国内機関としての活動、ITER 機構職員数の現状、ITER 機構職員公募に関して説明を行った。また、展示場内特設会場にて ITER 概況説明（「核融合エネルギー開発最前線―地上の太陽はどこまでできたのか？―」）の発表も行った。（7 月 6 日（木）11 時～ 参加者：約 40 名）

（ITER プロジェクト部 杉本、井上 ITER 計画管理グループ 大原 ITER 連携推進グループ 會澤、古田）

4. 主な Q&A

Q：現在ある原子力発電（核分裂炉）と核融合炉はどう違うのですか？

A：核分裂炉では、ウランの原子核が中性子を吸収し軽い原子核に分裂（核分裂）する際に出るエネルギーを取り出し、発電を行います。核融合炉は燃料としてプラズマ中に存在する重水素とトリチウムを用いた反応からエネルギーを取り出し、発電を行うというものです。核分裂反応は連鎖反応を起こすのに対し、核融合反応は燃料の供給を止めれば反応も止まるため、比較的安全対策をし易いといえます。また、核融合反応では高レベルの放射性廃棄物は発生しません。

Q：ITER 計画とは何ですか？また、何が目的なのですか？

A：ITER 計画とは、日本・欧州連合（EU）・ロシア・米国・韓国・中国・インドの 7 極の国際協力により、ITER（＝国際熱核融合実験炉）を建設し、核融合エネルギーが科学的・技術的に成立することを実証しようという超大型国際プロジェクトです。ITER では発電までは行わず、次のステップ（原型炉、実証炉）に向かうため、核融合燃焼の実証、核融合燃焼プラズマの定常運転、核融合エネルギーの取り出しの試験を行うことなどを目的としています。

Q：ITER はどこにありますか？

A：フランスの南部サン・ポール・レ・デュランスに建設しています。マルセイユから約 100 キロ、車で 2 時間程度のところです。

Q：ITER の完成予定はいつですか？

A：現在トカマク複合建屋や本体組立建屋の建設が進んでおり、ITER は 2025 年の運転開始を目指しています。（2016 年 6 月 ITER 理事会で決定）

Q：ITER 機構職員には核融合に関する知識がないとなれませんか？

A：ITER 機構の募集ポストは、核融合に関する専門知識や研究実績が必要となるものも当然ありますが、機械、電気原子力、情報、建築、土木などの工学分野や国際プロ

プロジェクトの実務経験を有する方など、幅広く人材を求めています。ITER 機構のウェブサイトに掲載されている Job Description には、各々の募集ポストに対して、その職務内容を記述した、応募者の実務経験や専門性などに関する条件が具体的に記載されていますので、ぜひご覧になってみてください。

また、量研では応募を検討されている方に募集情報の提供をしております。メーリングリストにご登録いただいた方に最新の募集情報や ITER Newsline の配信、面接の支援などを行っておりますので、ぜひご活用ください。

Q：学生も ITER に参加できますか？

A：ITER 機構が募集している、修士課程の学生、大学学部生以上を対象としたインターンシッププログラムもあります。インターンシップでは、各自の研究分野において実践的な経験を得る機会を提供しており、募集は随時されていますので、ぜひご応募をご検討ください。

Q：那珂核融合研究所はどこにあるのですか？見学できますか？

A：茨城県那珂市にあります。見学は可能です。那珂核融合研究所 庶務課にて随時受け付けておりますので、下記 HP をご参照ください。

http://www.fusion.qst.go.jp/naka/for_ordinary3/welcome.html

また、年に一度、施設見学会も開催しております。

5. 展示会の様子



